

職人の技を披露

「浜頓別技能者会の包丁研ぎ」

6月29日、福祉センターにおいて、浜頓別技能者会による、毎年恒例の包丁研ぎの無料奉仕活動が行われました。

技能者会は、大工さんなどで構成されており、日頃からカンナなどの刃を研いでいることから、刃物を研ぐ技は職人の腕前です。

この日、切れ味が落ちてしまった包丁を手作業で丁寧に研いで仕上げ、町民からは「毎年すごく助かります」と感謝の声がかけられていました。



安全のために

「平成20年度頓別救難所自主訓練」

7月12日、頓別港において、平成20年度頓別救難所自主訓練が行われました。

海難事故はいつ、どこで起こるかは誰にも予想できません。そのため、日頃より救難所員同士のチームワークを養い訓練を行うこととしています。

いざという時にスムーズに救助活動ができるよう、各海上保安部・保安署、各関係機関のご指導の下、情報伝達経路の確認など、救助技術向上のため毎年、訓練を行っております。



排水機能維持のため

「排水路除草清掃活動」

7月27日、安別にて排水路除草清掃活動が行われました。

これは、排水路の機能が下がると、同時に草地の排水機能不全を起こしてしまう可能性があることから、排水機能を維持するため必要不可欠である排水路の保全管理を目的として行われました。

排水路愛護組合が中心となり浜頓別北部地区国営総合農地防災事業の受益者、役場職員あわせて12名で実施され、排水路の側面等の除草・除木作業が行われました。



♪7月6日 幼稚園♪

うんどうかい



♪7月20日 保育所♪

## 家族への感謝の気持ちを実感

### 「はまどんべつ寺子屋塾」の取り組み

#### ▼通学合宿とは

今年で7年目となる教育委員会主催の「寺子屋塾」は、「通学合宿」と言われ、公民館等の施設に、子ども達が一定の期間寝食を共にしながら学校に通う活動。浜頓別町では、永生寺を会場に5泊6日で実施。長ければ長いほど、成果が上がるとされていて、全道では20か所程度実施しています。

#### ▼子ども達の生活サイクル

主な内容は、後片付けを含む食事作り、座禅体験や銭湯体験など。食事のメニューは給食センター栄養士が作成。今年は、人気のあるカレーライスやハンバーグなど。家庭では保護者がすることを、生活するためにほとんどを自分たちで作業します。



#### ▼生活のサポートは高校生…子ども達の感想

子ども達の生活をサポートするのは、北海道浜頓別高等学校ボランティア局の生徒。年齢の近いお兄さんやお姉さんとの活動は、子ども達にとつて安心できる存在。最後の感想からも思い出深いものとして非常に印象に残っているようでした。

#### ▼6年生女子の感謝の手紙

一緒に遊んだり、料理したりしてとても楽しかった。相手してくれてありがとう！いつもはこんな体験ができなかったのでも楽しかった。5泊6日間ありがとう。また、会ったら声をかけてね。

#### ▼保護者への手紙から

開始して4日目の朝、洗濯物の交換の際、一緒に家族への手紙を同封します。会うことのできない家族へ気遣いや感謝の内容がほとんどです。

#### ▼5年生男子の手紙の内容

いつも料理を作ってくれたり、掃除をしてくれてありがとう。でも、ちよつとは料理はできるし、掃除も学校でできるから家でもちゃんとできます。寺子屋でちゃんとしているから大丈夫です。

#### ▼毎日の参加者の自己評価から

振り返りの時、6項目ほど、自己評価します。表にすると…

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
疲れ具合	7.1	8.4	9.1	7.2	9.2
ご飯の食べ具合	9.1	8.7	9.3	9.4	8.8
規則正しい生活	6.8	7.0	7.4	6.9	8.1
協力でき具合	8.0	7.0	6.4	8.1	8.4
仕事のでき具合	5.8	8.2	8.1	7.9	8.4
挨拶のでき具合	5.4	6.9	6.9	7.1	7.9

※23名の10点満点の平均値

※総合的には…後半になるにつれて、疲れも見えましたが、だんだんと規則正しい生活、仕事や協力、挨拶ができるようになったと感じているようです。

#### ▼保護者の声

参加するにあたり、子ども達には、「日常ではできない体験をしてほしい」「集団ルールを経験させたい」などの期待が込められていました。参加後の様子は、「仲間との生活が楽しい」や「自分で何かをしてみたい」などの声が保護者へ伝えられました。

#### ▼今後に向けて

7年目を迎えて、一時的な取り組みではありませんが、共同生活を通して参加者の「学び」や「成長」が伝わってきています。今後に向けては、

##### ①地域の「寺子屋塾」にしていく。

高校生が生活のサポートをして運営協力をいただきながら実施しているが、より地域性を高めるため、食事作りにあたっては関係団体を、また特別活動にあたっては、地域住民の協力をいただきながら、地域で子どもを育む力の醸成を図ります。

##### ②地産地食を追求していく。

年々少しずつ北海道や浜頓別町の物を取り入れてきていますが、食育の推進を図ること、ふるさとの味を体で覚えるような工夫を推進します。

#### ●問合せ

町教育委員会社会教育係  
☎(2) 4666